

# 職務経歴書

〒XXX-XXXX

TEL/FAX XXX - XXXX - XXXX

## 【略歴】

大学卒業後、株式会社 および 株式会社にて4年間、J2EE技術を利用したWeb系システムの開発を担当。

Javaの特徴であるオブジェクト指向を有効利用して、再利用性の高いソフトウェアを目指して開発設計およびプログラミング、プロジェクト管理を実施。

## 【得意分野・技術】

- ・ Java/J2EEを使用したWebアプリケーション開発経験
- ・ WEBアプリケーションにおける詳細設計やテスト計画および実施の遂行能力
- ・ サブリーダーとして担当開発プロジェクトの進行管理、外注のエンジニア管理経験

## 【職歴詳細】

株式会社 200X年4月～200X年3月

開発期間	業務内容	環境・言語等	職位
200X年4月 ～ 200X年7月	株式会社 アプリケーション事業部 新人研修 Javaを中心に研修を行う	C、JSP Java	
200X年8月 ～ 200X年11月	○株式会社 / PDF管理システム 【担当フェーズ】開発～テスト 【担当業務】 グループ内システム標準のフレームワークを使用したWeb系システムの構築で下記業務を担当 ・PDFコンテンツ管理 ・PDFダウンロード履歴閲覧機能 ・PDF更新管理機能	【DB】 Oracle 8i 【OS】 Windows2000 Solaris 5.8 【言語】 Java Javascript HTML SQL 【ツール】 WebLogic5.1	チーム3名 職位:メンバー
200X年12月 ～ 200X年3月	○株式会社 / 社内フレームワーク機能追加 【担当フェーズ】詳細設計～開発～テスト 【担当業務】 グループ内システム標準のフレームワークの機能追加で下記業務を担当 ・ログ出力機能強化 ・ログ抽出機能 ・ログ切り分け機能	【DB】 Oracle 8i 【OS】 Solaris 【言語】 Cシェル awk	チーム2名 職位:メンバー

株式会社 200X 年 5 月 ~ 200X 年 3 月

開発期間	業務内容	環境・言語 等	職位
200X 年 5 月 ~ 200X 年 7 月	○株式会社 / Web 取引システム  【担当フェーズ】詳細設計 ~ 開発 ~ テスト ~ 業務引継ぎ 【担当業務】 外注パートナーを含めたメンバー管理 グループ内システム標準を使用した Web 系システムの構築 で下記業務を担当 ・商品注文機能 ・商品出荷実績閲覧機能 ・商品管理機能 ・データ連携機能	【DB】 Oracle 9i 【OS】 Windows2000 Solaris 5.8 【言語】 Java Javascript HTML SQL 【ツール】 WebLogic5.1 Eclipse	チーム 6 名 職位: サブリーダー
200X 年 8 月 ~ 200X 年 1 月	○株式会社 / 業務アプリケーション・メール配信機能追加  【担当フェーズ】詳細設計 ~ 開発 ~ テスト ~ 業務引継ぎ 【担当業務】 メンバーの業務の進捗管理 グループ内システム標準を使用した Web 系システムの構築 で下記業務を担当 ・メール送信機能 ・送信メール管理機能 ・商品管理機能 ・データ連携機能	【DB】 Oracle 9i 【OS】 Windows2000 Solaris 5.8 【言語】 Java Javascript HTML SQL 【ツール】 WebLogic5.1 Eclipse	チーム 3 名 職位: サブリーダー
200X 年 2 月 ~ 現在	○株式会社 / 技術情報検索システム機能追加  【担当フェーズ】詳細設計 ~ 開発 ~ テスト ~ 業務引継ぎ 【担当業務】 メンバーの業務の進捗管理 グループ内システム標準を使用した Web 系システムの機能追加で下記業務を担当 ・部門住所更新機能 ・部門住所情報メール送信機能	【DB】 Oracle 10g 【OS】 Windows2000 Solaris 5.8 【言語】 Java SQL 【ツール】 WebLogic5.1 Eclipse	チーム 2 名 職位: サブリーダー

【取得資格】

取得年月	資格名
200X 年 12 月	Sun Certified Programmer for the Java 2 Platform 1.4
200X 年 6 月	Sun Certified Web Component Developer For The Java 2 Platform, Enterprise Edition (J2EE)

【自己 PR】

設計やプログラミングの各工程では他の SE や PG の進捗管理やレビューを通じてプロジェクトにおけるヒューマンスキルの向上に励みました。その結果、プロジェクトメンバーの理解を得るとともに、プロジェクトにおけるマネジメント能力を身に付けることができました。私がプロジェクトの一員となることによって、円滑なプロジェクト運営と品質の高い設計、およびプログラミングが可能になると自負しております。そして、将来的には OJT 教育プロジェクトで培ったコーチング技術やヒューマンスキルを生かし、自らが教育した人材を核としたチームを率いてプロジェクトを運営していきたいと考えております。

以上